

Title	三田哲学会行事報告
Sub Title	
Author	
Publisher	三田哲學會
Publication year	1995
Jtitle	哲學 No.98 (1995. 1) ,p.171- 173
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00150430-00000098-0172

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三浦和男先生が逝った。三田哲学会や「哲学」にかかわる人ならだれでも、三浦先生と何らかのつきあいがあったであろう。私などは、それほど深いつきあいをさせていただいていたわけではないが、朝まで飲み歩いたことや、怒りを爆発させている姿、そして、ゆっくりとしたつぶやくような語り口などを思い出す。まだやり残した仕事もあったであろう。病床で死と向かい合って、哲学者として得たものも多かったであろうが、それを私たちに伝える十分な時間もなかった。それでも三浦先生が私たちの一人一人に残したものは、計り知れないほど大きいように思う。

ご冥福をお祈りします。(伊東裕司)

三田哲学会行事報告

1994年

- ◇ 3月9日(水) 三田哲学会臨時総会(研究室会議室, 12時~13時30分)
 1. 1993年度決算報告(承認)
 2. 1994年度予算案審議
 3. 学会運営方法について, など審議
 4. 会長・役員の変替
 5. その他
- ◇ 4月25日(月) 三田哲学会総会(研究室会議室, 12時~13時30分)
 1. 1994年度予算案審議, 承認
 2. 『哲学』別冊「文献案内」の発行について, 改訂版の発行を決定
 3. 『哲学』掲載論文のレフリー制の導入について, 継続検討となった
 4. 『哲学』100号記念号の企画についての議論
- ◇ 5月10日(火) 講演会(新研究室AB会議室, 16時30分~)

「ヴィトゲンシュタインとクワイン——論理的主体と心理的主体——」
古田裕清(ミュンヘン大学博士号取得)
- ◇ 5月18日(水) 講演会(三田情報センターAVホール, 14時40分~)

「現代論理学の動向について」
Jean-Yves Girard(フランス国立科学研究所 CNRS 主任研究員)

- ◇ 5月21日(土) 講演会 (新研究室文学部会議室, 15時30分～)
「癌患者の心理的適応とソーシャル・サポート」
久田 満 (東京大学医学部助手)
- ◇ 5月21日(土) 講演会 (新研究室文学部会議室, 17時30分～)
「日本語による人間関係理解と新たな臨床援助モデルの展開——「関係性」仮説に基づく「つなぎ」モデル——」
下山晴彦 (東京工業大学保健管理センター)
- ◇ 5月25日(水) 講演会 (新研究室文学部会議室, 17時30分～)
「学校現場からの日米社会化過程の比較」
常吉僚子 (文京女子大学専任講師)
- ◇ 6月8日(水) 講演会 (新研究室文学部会議室, 15時30分～)
「判断・意志決定を巡る非対称性の諸相」
山岸侯彦 (ワシントン大学心理学大学院)
- ◇ 6月15日(水) 講演会 (三田地域研究センター第1協同研究室, 18時～)
「呪薬の効力——ドウルマにおけるムハッソの観念——」
浜本 満 (一橋大学社会学部助教授)
- ◇ 6月22日(水) 講演会 (新研究室文学部会議室, 15時30分～)
「懲戒過程における組織の公正性」
高橋 潔 (ミネソタ大学産業関係学部)
- ◇ 6月24日(金) 講演会 (三田情報センターAVホール, 16時30分～)
「科学者としてのアリストテレス: その正しい評価——生物学的著作を中心として——」
Allan Gotthelf (アメリカ, トレントンカレッジ教授)
- ◇ 6月29日(水) 講演会 (三田情報センターAVホール, 14時30分～)
「中国で読まれている日本の文学作品」
陳 真 (北京舞踊学院助教授)
- ◇ 6月29日(水) 講演会 (新研究室文学部会議室, 17時30分～)
「医療機関に勤務する臨床心理職の職務満足——わが国の医療システムの特徴との関係から——」
中川 薫 (東京大学医学部保健社会学教室)
- ◇ 7月9日(土) 講演会 (新研究室経済学部会議室, 13時～)
「社会学における合理的選択理論」
織田輝哉 (厚生省社会保障研究所研究員)
「質的比較分析法の応用研究——ブール代数分析の可能性について——」
鹿又伸夫 (立命館大学助教授)

- ◇11月17日(木) 講演会 (三田情報センターAVホール, 16時20分～)
「Everyday Cognition & School Cognition (日常的認知——利点と限界)」
波多野誼余夫 (独協大学教授)
- ◇11月17日(木) 講演会 (三田北新棟ホール, 16時30分～)
「未熟児治療の実際と生命倫理学的問題」
堀内 勁 (聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院周産期センター助教授)
- ◇11月22日(火) 例会 (新研究室AB会議室, 18時～)
「日常生活を行動分析学で考察する Applying Behavior Analysis to Everyday Life: What can This Tell Us the Future of Applied Behavior Analysis?」
Bernard Guerin (ワイカト大学心理学部シニア・レクチャラー・慶應義塾大学訪問助教授)
- ◇12月1日(木) 講演会 (三田情報センター AV ホール, 16時30分～)
「現代認識論と哲学の危機」
Alain-Marc Rieu (Faculte de Philosophie Universite de Lyon 3)
- ◇12月10日(土) 研究会 (図書館 AV ホール, 14:00～17:30)
三浦和男先生追悼の言葉
樽井正義 (慶應義塾大学)
- 講演: 1. 浅見昇吾 (慶應義塾大学博士課程)
「ヘーゲル哲学のコミュニケーション理論的変形——ハーバースマス
のヘーゲル解釈によせて——」
2. 谷 徹 (城西大学女子短期大学部)
『三つの現象学的時間論』
3. 谷 寿美 (慶應義塾大学)
「ロシア留学を終えて」